

2016年3月28日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
植物研究部 細矢 剛

第29回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

おかげさまをもちまして、S-Net/GBIF 関連事業は次期（H29-H33）のNBRP（ナショナルバイオリソースプロジェクト）公募に採択され、継続できることとなりました。さらに多くのデータを共有し、使いやすいシステム・体制を目指したいと思います。

一方、S-Net のデータを管理・公開する情報システムの更新が必要な時期に来ており、これを機会に、運営体制やシステムをレビューし、これまで以上に皆様のための事業にすることを目指す機会を持ちたいと思います。そこで、第29回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会は、以下のような内容で国立科学博物館にて開催します。

多くの皆様のご参加をお待ち致しております。ご参加いただける場合は、4月14日（金）までにメールで下記担当までお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2017年4月24日（月）13時00分～16時45分（12時30分 開場）

場所：国立科学博物館 上野本館 日本館2階講堂

<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>

主催：国立科学博物館

共催：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館

細矢 剛・安田 敦子

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 29 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会
『自然史標本情報収集・活用のためのワークショップ』

日時：2017 年 4 月 24 日 13:00－16:45

場所：国立科学博物館上野本館 2 階講堂

おかげさまをもちまして、S-Net/GBIF 関連事業は次期（H29-H33）の NBRP（ナショナルバイオリソースプロジェクト）公募に採択され、継続できることとなりました。さらに多くのデータを共有し、使いやすいシステム・体制を目指したいと思います。

一方、S-Net のデータを管理・公開する情報システムの更新が必要な時期に来ており、これを機会に、運営体制やシステムをレビューし、これまで以上に皆様のための事業にすることを旨とする機会を持ちたいと思います。そこで、第 29 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会は、以下のような内容で国立科学博物館にて開催します。

本会合の目的は、

1. 参加者に GBIF、S-Net、NBRP の関係を理解してもらう。
2. 参加者に GBIF の戦略、日本ノードの戦略を理解してもらう。
3. 参加者より S-Net 運営・体制についての提言・活用事例を募集する。
4. 参加者より S-Net システム改修に関する意見を募集する。

参加者からは、ブレインストーミング方式を中心にした討議により、アイデアやニーズ、活用事例の提案などをいただきたく存じます。討議に十分な時間をとり、ご意見を直接発言できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

＝ プログラム ＝

開始 終了

		開会あいさつ イントロ①
13:00	13:20	GBIF の戦略、日本ノードの戦略、GBIF・NBRP・S-Net の関係 (国立科学博物館・細矢)
		イントロ②
13:20	13:40	システム改修の必要性について (国立科学博物館・神保)
13:40	14:20	ブレインストーミング 1
14:20	14:40	まとめ 1
14:40	15:10	休憩
15:10	15:50	ブレインストーミング 2
15:50	16:10	まとめ 2
16:10	16:40	総合討論
16:40	16:45	終了挨拶

※演題や講演の順番は、変更する場合があります。